

那 塩 水 第 1 5 2 号
平成 2 7 年 8 月 4 日

那須塩原市水道事業審議会
会 長 _____様

那須塩原市水道事業管理者
那須塩原市長 阿久津 憲 二

那須塩原市水道事業計画(那須塩原市水道事業ビジョン)の策定について(諮問)

那須塩原市水道事業審議会条例(平成19年那須塩原市条例第28号)第2条の規程に基づき、下記の事項について、貴審議会の意見を求めます。

記

平成29年度以降の那須塩原市水道事業基本計画(那須塩原市水道事業ビジョン)
(案)の策定について

- 1 水需要の減少に伴う、財政計画の見直しと今後の水道料金のあり方について【**持続**】
- 2 アセットマネジメント(資産管理)計画の成果を活用した施設更新のあり方について【**強
韌**】
- 3 水質事故等の危機管理への備えや水道施設の耐震化等防災対策の強化について
【**安全**】

諮問の理由

市では、現在、平成19年度に策定した「那須塩原市水道事業基本計画」（那須塩原市地域水道ビジョン）を市水道事業経営の指針として、事業活動を行ってまいりました。

その中で、那須塩原市誕生時に旧市町に存在していた、3つの上水道、7つの簡易水道を那須塩原市上水道に統合し、水道料金も平成22年度に統合したところです。

また、この期間の中で、水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、事業創設からこれまで整備拡張してきた水道施設の大量更新の時期を迎える中、本市はもとより全国的にも本格的な人口減少社会の到来が確実なものとなりました。水需要の減少が見込まれる中で、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の経験を生かした災害に強い水道システムの構築、将来の人口減少や水道施設の老朽化に伴う更新・再配置、供給する水道水の安全性の確保など、「安全」「強靱」「持続」の観点から各水道事業体に新たな計画の策定が求められております。

今後は、水道事業のあるべき姿をより長期の視点から見据え、事業計画や資金計画などを含めた中期的な経営計画を策定することで、市民生活、そして経済活動に欠かせないライフラインである水道事業を将来にわたり持続できるよう運営したいと考えております。

そこで、今後50年後、100年後の水道を見据えた那須塩原市のあるべき水道事業にするための礎としての今後10年間の水道事業計画について、水道事業審議会に答申をいただくべく諮問するものです。